

2021年度版

高橋書店公務員試験対策書 購入者特典

適性試験対策BOOK

適性試験対策BOOK

1

計算

◎そもそも適性試験って何？

- * 公務員に必要な事務能力を見るための、解答のスピードと正確さを問う問題です。
(※名前の似た別の試験「性格適性検査」が課される職種もあるので注意)
- * どれも時間さえかければ誰にでも解けるかんたんなもの。ただ、実際の試験では**短時間で多くの問題に正解すること**が求められます。
- * 「正答数－誤答数＝得点」で算出されます。**途中でとばした問題は誤答と見なされる**ので注意が必要。スピードと正確さ、両方が大事です。
- * 合格するためには、一定の基準点以上を得点する必要があります。試験によってその基準点に幅はありますが、より確実にするために7割以上を目指しましょう！

◎学習のコツ

試験で焦らず確実に得点していくには、解答のコツを身につけるのが大切。
この付録では、代表的な出題形式を押さえておきましょう！

▼ジャンル別にみた解答のコツ

1 計算

四則計算(＋、－、×、÷)の順序を間違えないようにしよう。
計算結果を用いる問題は、その結果をメモしながら取り組むと効率的。

2 分類

提示された数字や文字、記号等の読み間違い、見間違いに注意！こまめにメモしながら、効率アップを図ろう。

3 照合

自分のカンや記憶に頼らず、こまめに印を付けたりしながら、地道に照合していくことがスピードアップのコツ。
ハイフンで固まりに区切られている場合は、固まりごとに照合すると、効率がいい。

4 置換

照合の問題と同じく自分のカンや記憶に頼らず、こまめに印を付けたりしながら、地道に照合していくことがコツ。
指や鉛筆を使って1つ1つ押さえながら確認していこう。

5 図形把握

自分にとってわかりやすい箇所、あるいは特徴のある箇所に注目して見ていくと◎。
引っかけ問題の1つとして、「裏返した形」には特に注意！

6 複合問題

1～5の問題を2つ以上組み合わせた問題。
焦りは禁物。落ち着いて、1つずつ、確実にこなしていくことが大切。

1 次の数式の答えの下1桁は1～5のどれか。

- (1) $3 \times 2 - 9 \div 3$
 (2) $11 + 4 \div 2 + 8$
 (3) $15 - 8 + 3 \times 2$
 (4) $6 \times 8 - 7 - 16$

2 次の数式の答えと同じ答えになる数式はどれか。

- (1) $36 - (3 + 8)$
 1 $5 + 18$ 2 6×4 3 $41 - 12$
 4 $31 - 6$ 5 4×3
 (2) $8 + 16 \div 4$
 1 $31 - 9$ 2 $16 + 7$ 3 8×3
 4 $43 - 17$ 5 6×2

3 □に入る数を求め、数式を完成させよ。

- (1) $\square \times 9 - 17 = 28$
 (2) $11 + 42 \div \square = 25$
 (3) $\square \times 8 - 11 = 5$
 (4) $36 - \square \div 2 = 34$

4 次の計算式の答えを、手引きに従って1～5に分類せよ。

【手引き】

1	2	3	4	5
1～4	5～8	9～12	13～16	17～19

- (1) $6 + 4 - 8 + 12$
 (2) $9 - 2 + 8 - 2$
 (3) $4 - 1 + 6 + 9$
 (4) $6 - 3 - 1 + 11$

1 (1) 3 (2) 1 (3) 3 (4) 5

四則計算は、乗除(×、÷)が先で加減(+、-)が後という大原則を忘れずに。

2 (1) 4 (2) 5

加減乗除の記号に注意。()のついた計算式は、()内を先に計算する。計算結果は必ずメモし、選択肢で同じ答えが見つかったら、即座にマークし、次の問題に移ろう。

3 (1) 5 (2) 3 (3) 2 (4) 4

□とまとまりを持たない部分を移項したり、先に計算してしまうなどして、手早く式を単純化しよう。

4 (1) 4 (2) 4 (3) 5 (4) 4

近年、計算は分類や置換の問題と組み合わさって出題されることが多い。計算自体はごく単純で、結果の分類も決して複雑ではないので、確実に得点したい。計算結果の値と答えとなる選択肢の数字を混同しないよう注意しよう。

2

分類

1 手引きの分類表に従って、与えられた数を分類せよ。

【手引き】

A	E	B	D	C
3012~3043	3113~3138	3159~3192	3083~3112	3244~3281
3317~3351	3282~3316	3044~3082	3139~3158	3193~3243

	1	2	3	4	5
(1) 3294	A	D	B	C	E
(2) 3026	E	B	A	C	D

2 手引きの分類表に従って、与えられたひらがなと数を分類せよ。

【手引き】

	319~361 447~487	533~579 402~446	488~532 362~401
あ~せ	A	C	F
ね~ん	H	B	D
そ~ぬ	E	I	G

	1	2	3	4	5
(1) へ-359	H	C	B	A	F
(2) く-418	F	E	C	G	D

3 手引きの分類表に従って、与えられたローマ数字と数を分類せよ。

【手引き】

お	あ	え	い	う
I-11~19	II-29~33	III-1~3	I-7~10	II-14~21
III-9~15	II-34~39	I-25~31	II-1~6	III-4~8
II-7~13	III-16~24	II-22~28	I-1~6	I-20~24

	1	2	3	4	5
(1) II-26	え	あ	お	い	う
(2) I-8	あ	え	い	う	お

4 手引きの分類表に従って、与えられた数を分類せよ。

【手引き】

	A	B	C
△	483~526 407~440	325~366 723~761	197~240 603~641
◇	112~154 241~283	527~562 642~684	284~324 762~809
◆	367~406 685~722	155~196 810~843	441~482 563~602

	1	2	3	4	5
(1) 583	◇C	◆C	△A	◇B	△C
(2) 214	△C	◆B	◇B	△B	◇A

1 (1) 5 (2) 3

千の位の数字がすべて3なので省き、3桁の数として扱えばよい。分類したアルファベットがそのまま解答とならない点にも注意。

2 (1) 1 (2) 3

まず縦の欄でひらがなをさがしたら、その欄をチェックし、次に横の欄の数をさがそう。

3 (1) 1 (2) 3

I、II、IIIの見誤りに気をつけ、該当するローマ数字をチェックし、数字がその中に含まれるか確認していこう。分類結果は必ずメモ書きし、それを見ながら選択肢を選ぶこと。

4 (1) 2 (2) 1

数を記号とアルファベットで分類する問題。指と鉛筆で縦欄、横欄をそれぞれ押さえながら、交差するところをさがす。記号は◇と◆、◇と△をそれぞれ見誤らないように注意しよう。

3

照合

1 次に示した数字とアルファベットの組み合わせと同じものは、1~5のどれか。

- (1) 32-BFI-685
 1 32-BFI-865 2 23-BFI-685 3 32-BFI-685
 4 32-FBI-685 5 32-BHI-685
- (2) 44-MSQ-197
 1 44-NSQ-197 2 44-MSQ-197 3 44-MQS-197
 4 44-MSQ-179 5 44-MSG-197

2 正本と副本を照らし合わせて、正本と異なる文字が副本にいくつあるかを答えよ。異なる文字の数は必ず1~4となり、まったくない場合は5とする。

- (1) 正本 衣服が単に必需品としてではなく感性に関わ
 副本 衣服が単に必需品としてではなく感性に関わ
- (2) 正本 落語家が使う小道具は扇子と手ぬぐいだけで
 副本 落語屋が使う小道具の扇子と手ぬぐいだけで

3 正本の訂正指示(追加・削除・入れ替え)と、副本(訂正を加えたもの)を比べて、副本の中にある誤りの箇所は1~5のどれか。削除する部分は[削除]と示し、追加する位置と字句は↑()と示し、また入れ替える部分と字句は()と示す。なお副本中の誤りが2つの区域にまたがることはない。

- (1) 正本 これらは基本的な人権主眼とする近代民主政治
 [削除] ↑(の尊重を) (主義)
- 副本 1 2 3 4 5
 基本的人/権の尊重/を主眼と/する近代/民主主義
- (2) 正本 四角い形のスイカは生ではなく感傷用で味は
 [削除] ↑(食用) (鑑賞)
- 副本 1 2 3 4 5
 四角のス/イカは生/食用では/なく鑑賞/用で味は

4 次のカタカナ群のうち、すべて手引きの中にあるカタカナで構成されているものはいくつあるか。

- 【手引き】 ル・ハ・チ・メ・ラ・ウ
- (1) メラン ハウラ ルハチ ラメウ フラウ
- (2) ウラメ チハラ ハチラ ルラチ ハメチ

1 (1) 3 (2) 2

ハイフンで区切られているので、各部分を照合し、選択肢を絞る。区切られた部分を一部分ずつ暗記し、頭の中でつぶやきながら選択肢にあたろう。

2 (1) 1 (2) 2

誤りの数を答えるので、誤りが見つかったら、必ず○や△の印を付けておこう。文の内容に気を取られてはいけない。

3 (1) 3 (2) 1

追加や削除、語句の入れ替えがある分、複雑な照合問題。その分、正本を訂正する作業ばかりに気を取られ、結局誤りがどこにあったかわからなくなってしまつことも。正しく訂正するのが最終目的ではない、ということをお忘れずに解こう。

4 (1) 2 (2) 5

群ごとに3文字のカタカナを覚え、頭の中で繰り返しつぶやきながら、手引きの文字と照合しよう。

4

置換

① 次のひらがなとローマ数字の組み合わせを、手引きに従って漢字に置き換えたものとして正しいものはどれか。

【手引き】

	あ	い	う	え
I	鯨	鯨	鯨	鮎
II	鯨	鯨	鯨	鮎
III	鯨	鯨	鯨	鮎
IV	鯨	鯨	鯨	鮎
V	鯨	鯨	鯨	鮎

1 2 3 4 5

(1) え-V・あ-V・い-III 鯨鯨鯨 鯨鯨鯨 鯨鯨鯨 鯨鯨鯨 鯨鯨鯨

(2) う-II・え-II・あ-IV 鯨鯨鯨 鯨鯨鯨 鯨鯨鯨 鯨鯨鯨 鯨鯨鯨

② アルファベットと数字の対応が、手引きのとおり正しく置き換えられているものはいくつあるか、その数を答えよ。

【手引き】 P-2 R-7 G-4 C-8 K-5 E-6 S-1 V-3 W-9

<例題> REKCG 79583 (答:3)

(1) CESKR 86173 (2) EKRWV 56739 (3) GCSEP 48162

③ 手引きに従って記号を漢字に正しく置き換えたものはどれか。

【手引き】

□	※	▼	○	控	功	賢	腔
#	◎	◇	△	孤	墮	網	弧
●	▽	◆	☆	衝	網	巧	墜
▲	★	×	■	攻	腎	衡	弦

1 2 3 4 5

(1) ▲◎× 攻墮衝 弧墜衝 攻腔衝 賢墮衝 攻墜衝

(2) ☆●※ 墜腔功 腎衝功 墜衝功 墜衝功 墜衝巧

④ 手引きに従って、左側の漢字群を右側のどちらかの漢字に置き換えた。その際の誤りの数はそれぞれいくつか。ただし誤りは1~4であり、誤りがない場合は5とせよ。

【手引き】 溶 → 風 or 食 演 → 森 or 秋
 浅 → 線 or 寺 浸 → 空 or 茶
 涙 → 鳥 or 星

(1) 演浅浸溶涙 → 秋星空風鳥

(2) 溶涙浅演浸 → 食鳥茶星風

(3) 演涙浸浅溶 → 森星空寺食

① (1) 4 (2) 3

魚への漢字ばかりで混同しやすいが、つくりのみに着目して慎重にさがそう。

② (1) 3 (2) 1

(3) 5

数字に置き換えたらそれをメモし、その数字と右側の数字を照らし合わせて見比べてみる。

③ (1) 1 (2) 4

記号を頭の中でつぶやきながら、2つの手引きに集中しよう。

記号に▲と▼がある点に注意。また、漢字はそれぞれ形がよく似たものがあるので、そのポイントを押さえておくこと。

④ (1) 1 (2) 3

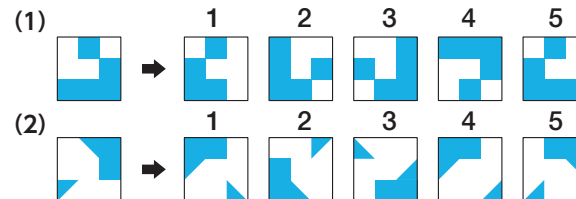
(3) 5

置き換える漢字の候補がそれぞれ2つあること、また、もとの漢字がすべて同じ部首(さんずい)で見間違えやすいことに注意が必要である。

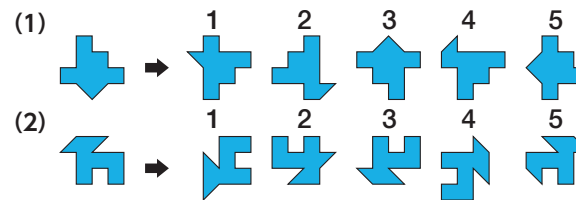
5

図形把握

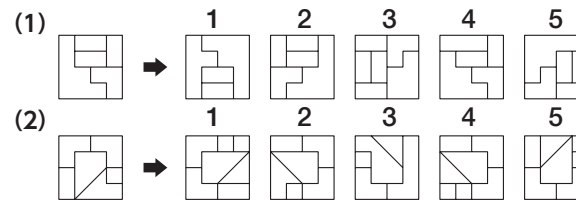
① 左の図形と同じ図形は、1~5のどれか。ただし、図形を裏返してはいけない。



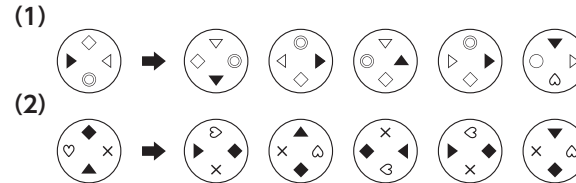
② 左の図形と同じ図形は、1~5のどれか。ただし、図形を裏返してはいけない。



③ 左の図形と形が同じで向きだけ違うものは、1~5のどれか。ただし、図形を裏返してはいけない。



④ 左の図形と同じ図形は右の中にいくつあるか。ただし、同じ図形は4つ以下で、まったくない場合には5とせよ。



① (1) 2 (2) 1

どこか1箇所、自分にとってわかりやすい部分、たとえば図形の中の柄が大きい部分や特徴ある形などに着目し、それを基準に見ていこう。

② (1) 3 (2) 4

形はまったく同じで向きだけ違うものと、形がまったく違うものが混ざっている。180度回転したものを判別する場合は特に、裏返しのものを選ばないように注意。

③ (1) 5 (2) 2

特徴ある部分に着目して、裏返さないように回転させていくと必ず見つかる。図形の正誤判別と同じく、イメージだけで判断せず、自分のわかりやすい部分を基準にさがすがコツ。

④ (1) 5 (2) 2

1つ正しいものを見つけても慎重に。左の図を「記号を盛ったお盆」と想像して、90度、180度と回転させてみよう。その際、1つの記号に着目してそれを基準に見ていくとわかりやすい。

6

複合問題

1 与えられた3つの図形を、それぞれ■のマスの目が1つあるものはその位置に対応する手引きの数、■のマスの目が2つあるものはそれぞれの位置に対応する数の差に置き換えて計算せよ。答えは選択肢1~5から選べ。

【手引き】

5	1	7
9	3	6
4	8	2

<例題> - + (正答：4)

(1) × -

(2) + ÷

【選択肢】 1 1 2 2 3 3 4 4 5 5

2 手引きの表で与えられた文字や文字式、及び数値を手がかりに■に当てはまる数値を求め、その数値を1~5から選べ。

【手引き】

A	B	2A+B	A-B	1	2	3	4	5
5		■	3	11	12	13	14	15
9		■	3	22	23	24	25	26
12		28	■	4	5	6	7	8
■		10	5	2	3	4	5	6
11		■	2	30	31	32	33	34

<例題> (正答：2)

- (1) 22 23 24 25 26
 (2) 4 5 6 7 8
 (3) 2 3 4 5 6
 (4) 30 31 32 33 34

1 (1) 3 (2) 5

図形を数値に置き換えてから計算する複合問題。■マスの数字を早く正確に読み取るのがポイント。ただし、図形の数値を求めることに気を取られていると、乗除(×, ÷)は加減(+, -)より優先させるといふ四則計算の原則を忘れてしまいやすいので、注意が必要。

2 (1) 3 (2) 5
(3) 4 (4) 2

文字を数値に置き換え、未知の数を求めるという簡単な連立方程式。AとBの値がわかって、さらにAとBの値を使って計算を行い、その結果を選択肢から選ばなくては行けない。混乱しやすいので、焦らず落ち着いて取り組もう。

3 情報A~Dに示した文字や数値を、分類表に従ってア~ウに直し、その結果の組み合わせを選択肢1~4から選べ。選択肢にない組み合わせならば5を選べ。

【分類表】

ア	a~f	1~11	I II III	120~149
イ	g~m	12~21	IV V	150~179
ウ	n~t	22~31	VI VII	180~219

【情報】

	A	B	C	D	
<例題>	p	9	VII	130	(正答：5)
(1)	o	8	IV	136	
(2)	r	19	I	181	

【選択肢】

情報	A	B	C	D
1	ウ	ア	イ	ア
2	イ	ウ	ア	イ
3	ア	イ	イ	ウ
4	ア	ウ	ア	イ
5	1~4のいずれでもない			

4 数字と文字を組み合わせたものを、手引きの指示に従って置き換えた場合、正しいものはどれか。

【手引き】

		五十音順	
		2つ前	2つ後ろ
数字	2つ小さい	A	B
	2つ大きい	C	D

- <例題> A(3・う) → 5・あ 1・あ 5・お 1・お 3・お (正答：2)
 (1) B(5・か) → 3・え 7・え 3・く 7・す 3・す
 (2) D(12・な) → 10・ぬ 10・て 14・と 14・ぬ 10・て
 (3) C(9・ち) → 11・そ 11・に 7・て 7・そ 9・て
 (4) B(7・せ) → 5・そ 9・た 9・し 8・た 5・た

3 (1) 1 (2) 5
 分類と置換、照合を組み合わせた問題。作業量は多いけれど、それぞれの分野の基本的な問題の組み合わせなので、慌てずに解こう。要領さえつかめばスピードアップが図れる。情報と分類表を慎重に見てカタカナに置き換えるが、その際カタカナは必ず記しておこう。

4 (1) 3 (2) 4
(3) 1 (4) 5
 置換と分類を組み合わせた問題。置換の作業が複雑で、特にひらがなの置き換えが手間がかかる。要領をつかんだら単純なことなので、決して焦らないこと。